

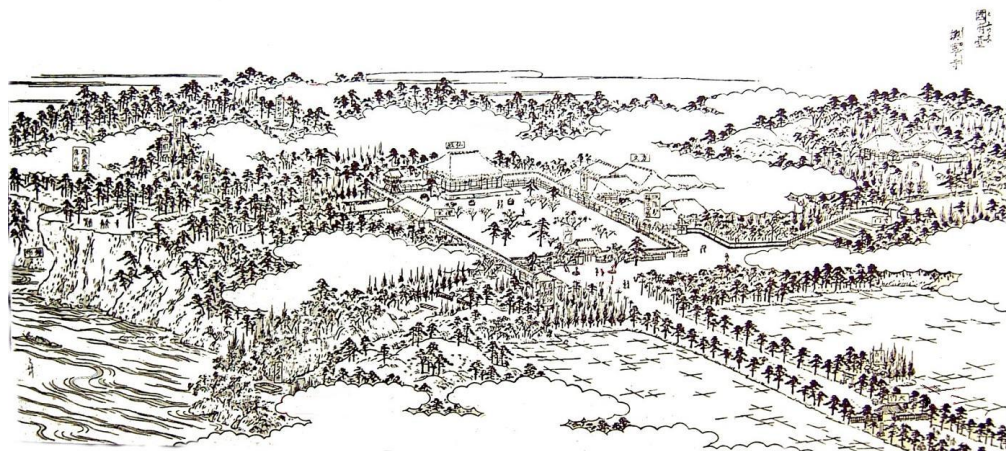


平成29年度歴史講座 第9回

続・戦国合戦の謎 ～下総の合戦と城～

戦国時代の終わりは、織田信長が足利義昭と上洛した永禄11年(1568)といわれることがありますが、その後も大きな合戦がありました。特に関東では、天正18年(1590)の小田原合戦まで合戦が続いています。

戦国時代後期の関東は、後北条氏が勢力をひろげ、その過程で様々な合戦が行われました。下総地方でも、千葉氏は次第に後北条氏の影響下に置かれるようになりましたが、一方で後北条氏と小弓公方、あるいは里見氏の軍勢が国府台で戦いました。また、小田原合戦の際に、後北条氏に従った各地の武将はどうなったのか。今回、下総地方にスポットをあて、戦国の合戦と城郭について、考えてみようと思います。



国府台合戦の合戦場跡に建った總寧寺 (江戸名所図会)



米本城跡の土塁



手賀城跡



生実城跡

日時: 平成30年 2月25日(日)13時～15時頃まで (12時30分開場)

場所: **アミュゼ柏 会議室B**

柏市柏6丁目2-22 ⇒ アクセス: 柏駅東口より徒歩7分

講師: 当会より

費用: 会員 100円 会員外 300円(資料代など)

その他: 駐車場は隣接してありますが、有料です。

主催: 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

【お問合せ先】

E-Mail : info@matsugasaki-jo.net TEL : 090-3579-5185 森 (平日は18時以降で)

会誌「水辺の城」創刊号
現在頒布中



神田神保町 六一書房でも販売